

さあ、新しい1年

～山野第一行政区  
もちつき大会での笑顔～

嘉麻市社協だより

えがお

発行日 2009.1.1 No. 35

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会  
発行 〒820-0205 福岡県嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内  
TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>  
FAX 0948-83-8005 ☒ [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)



**現**在、稲築地区の22行政区に地域福祉部が設置され、行政区長、民生委員児童委員、福祉関係団体(老人会、子ども会、婦人会)や防災関係者、福祉推進員等を構成メンバーとして、様々な福祉活動に取り組んでいます。

**本**会は、「福祉でまちづくり」を合言葉に、地域住民をはじめ、社会福祉の関係者、関係機関等の方々の参加及び協力を得ながら、様々な事業や活動を行っていますが、その中でも地域福祉部活動を広げていくことは、地域の福祉力を高めていくことにつながるため、特に重要な活動として位置づけています。

**この活動は、地域の実情によって違いますので、たくさんの「表情」があります。**

**今号では、漆生中央及び山野第一行政区の活動をご紹介します。**

## 漆生中央行政区地域福祉部

漆生中央行政区地域福祉部(福田泰栄部長)は、平成16年4月に発足しました。同行政区(松田茂区長)は、旧国鉄漆生駅周辺の商店街を中心に、約240世帯で構成されています。地域福祉部の主な活動は、ふれあい・いきいきサロンや、年末のもちつきの実施などを行政区の協力を得ながら運営しています。

11月30日(日)、今年度第3回目となる漆生中央行政区地域福祉部主催のふれあい・いきいきサロン「もみじ会」が開催され、36名が参加しました。

この日の朝は冷え込みもそれほどひどくなく、穏やかな冬の日差しが公民館に注ぎこんでいました。「おはようございます。お元気でしたか?」と、役員の皆さんが参加者をあたたくく迎え入れると、「今日は天気が良くてよかった。楽しみにしていました。」とあいさつが交わされていました。

松田区長のあいさつのあと、特別プログラムとして、嘉麻市内の福祉施設や学校、地域の行事を中心に活動している、わくわくマジック山田の安元

和義さんと明石英夫さんが、軽快な音楽に合わせてマジックを披露しました。



二人のマジックは、テレビで見るプロのマジシャンのような豪華な仕掛けや演出はありませんが、帽子の中に入れた生卵が消えたり、一瞬にしてビール瓶が缶ビールになったりと、驚きの連続でした。しかし、タネがわかってしまいくらいな場面もあり、「決して近くで見ないでください。」と会場の笑いを誘っていました。

2回目の参加という野口由喜子さんは、「近所の方に誘われて参加するようになりました。普段、あまり大笑いすることはありませんが、ここにくるとおなかのねじれるくらい笑うので本当に楽しい。誘ってくれたことを本当に感謝しています。次回開催が本当に楽しみです。」と、笑顔が印象的でした。

サロン運営の中心的な役割を担う福田さんは、「役員を通じての声かけが功を奏し、次第に参加者が増えてきています。開催を重ねていく事が大切だと思えますので、気軽に参加できる場となるようなサロンにしていきたい。」と意欲的です。

また、松田区長は「サロンがあることで、高齢者のことを今まで以上に把握できるよう



本会では、「助け合い、支えあえる地域づくり」をめざして、嘉麻市全域への地域福祉部の設置をめざしております。地域福祉部の活動について「もっと詳しく知りたい」「行政区の会合で説明してほしい」という要望やご意見等がありましたら、嘉麻市社会福祉協議会(TEL42-0751)までご連絡下さい。

地域福祉部の活動のようすは、引き続き本紙面において紹介していきます。



になった。行政区としても、引き続き応援していきたい。」と話していました。

# 広げよう！「顔」が見える関係づくり



皆さんは、「地域福祉部」という住民の自主組織が、地域の一人暮らし高齢者の見守りや住民同士の交流、ふれあい・いきいきサロンなどの福祉活動をその地域の実情に応じて実施しているということをご存知ですか？

この地域福祉部は、「住民の皆さんが地域における福祉問題等について協議し、活動を行う場」として、本会が市内の行政区を単位として設置を推進するとともに、既存の地域福祉部活動の支援を行っています。

## 山野第一行政区地域福祉部

山野第一行政区（森原正博区長）は、約700世帯を有する、市内でも大きな行政区のひとつです。また、毎年秋分の日に開催される県指定無形民俗文化財「山野の祭」は、760年もの歴史がある伝統行事として、地域のシンボルとなっています。

同行政区の地域福祉部（佐田スエ子部長）は、平成13年に発足した山野第一ネットワーク委員会（永富健二委員長）とともに、毎月第四水曜日のふれあい・いきいきサロン、月に1度の福祉部定例会議、年末のもちつき大会、一人暮らし

高齢者の見守り活動などを実施しています。

12月1日には、毎年恒例となっている「男性料理教室」を開催し、13名が参加しました。参加者は、地域福祉部の女性を中心とした指導のもと、4つの班に分かれて豚肉のしょうが焼きや紅白なます、すまし汁など4品に挑戦しました。慣れない手つきながらも、刃先に集中して野菜を切る皆さんの姿がとても印象的でした。気になる味の方も「合格点」をもらい、調理後に行われた懇親会では、「意外とおいしいですな」「妻が作る料理より上手いんじゃない？」と笑い声が絶えませんでした。

地域福祉部の役員に誘われ、初めて参加された古江雅彦さんは、「料理番組を見るのが好きなので、とても面白かった。実際にやってみることが大事ですね。とても勉強になりました。皆さんともいろいろお話できたことが一番の収穫。次回もぜひ参加したい。」と、充実した表情で話してくれました。

また、12月14日には、子ども会と合同で「もちつき大会」を

実施しました。当日は、早朝から約50名の方が公民館に集まり、子どもたちの「よいしょ！」という掛け声に合わせて、みんなでもちをつきました。つくたてのモチは手分けして丸めた後、役員や子どもたちが一人暮らしの高齢者宅へ届けました。訪問した先々で、「毎年ありがとう」と声をかけられ、子どもたちはちよつと照れくさそうでした。



残念。一人暮らしの高齢者、特に男性の方とどうつながっていくのかがこれからの課題。地域福祉部が中心となって、地域の皆さんと一緒に考えていきたいです。」と話してくれました。

一人暮らしの高齢者が今後ますます増えていく中で、どのように関わりを作っていくのか、生活をどのように支え合っていくのか。山野第一地域福祉部では、今まで以上に役員同士が連携を深めていきながら「山野に住んでいて良かった。」と思える地域づくりに向けて、活動を充実させていきたいと考えています。



75歳以上の一人暮らしの方に手づくりの年賀状を書く子どもたち

# わいわい広場

## 子育てリユースセンター情報



### 4月からの進級・進学に備えて 制服や体操服などの学用品を大募集 !!

本会では、不用になった子育て用品を持ち寄ってもらい、必要な方が自由に持ち帰ることができる「子育てリユースセンター」を碓井千歳会館にてオープンしています。

センターは、子育て世帯の経済的な負担を少しでも軽減することはもちろんですが、地域で子育てを支援していくことができたという思いから始まり、早いもので約2年が経過しようとしています。これまで、幼児用衣類や玩具、ベビーベッドやベビーカーなどを中心に、様々な子育て用品が寄せられています。

先日、以前ベビーかご(クーハン)をリユースされた方が、「おかげで助かりました。次に使う方がいると思い、大切に使用させていただきました。」と、持ち寄ってくださいました。このように、子育て用品のリユースがきっかけとなり、地域で子どもの育ちを一人ひとりができるかたちで応援するという新たな輪が、少しずつ広がってきていることを実感することができました。

センターでは、4月からの進級や進学に備えて制服や体操服など、学用品を募集いたします。学用品は、決して安価ではありませんので、家計への負担も少なくありません。嘉麻市近隣の中学校や高校に通い、3月で卒業を迎える方で、卒業後は不用になるという学用品がありましたら、センターまでお寄せ下さい。



### リユースセンターからのお願い

- ★衣類をお寄せいただく際は、洗濯やクリーニングをお願いします。
- ★直接肌に触れる肌着やおむつ、またぬいぐるみや人形はリユースできませんので、ご遠慮ください。
- ★しみや汚れがひどい場合は、受け付けられない場合がありますので、ご了承ください。



お問い合わせ：嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751



# ホームレス越冬支援

## 活動報告

### ホームレス越冬用物資に「ぬくもり」を込めて —皆さんから寄せられたジャンパー、毛布を直接届ける—



北九州ホームレス支援機構の炊き出しの様子

路上で生活するホームレスの方にとって、冬は命を落としかねない厳しい季節です。NPO法人北九州ホームレス支援機構（奥田知志理事長）は、特に寒さの厳しい12月から2月までの3ヶ月間を「越冬期」として、毎週金曜日に小倉北区の勝山公園を拠点に、炊き出しや防寒着・医薬品の提供、健康相談等を行っています。また、炊き出しの拠点まで来ることができない方には、各地区を巡回して弁当や物資を手渡しています。

本会は、同法人の支援活動に協力するため、越冬用物資の募集をしたところ、市民の皆さんからジャンパー32着、毛布10枚をお寄せいただきました。これらの物資は、12月12日（金）午後8時から行われた炊き出しの際に、ボランティアの縄田圭弘（馬見）さんとともに届けました。

縄田さんは、炊き出しに列を作る皆さん一人ひとりに「こんばんは」と、やさしく声をかけながら、携帯用カイロを渡していました。

また、炊き出し後は、戸畑方面のパトロールにも同行し、駅や公園等で生活する方に弁当や物資を届け、「胃腸薬やかぜ薬もあります。大丈夫ですか。」

と心配そうな表情で声をかけると、ホームレスの方から「ジャンパーをありがとう。これでだいぶ寒さが違う。」と声をかけられていました。

活動後、縄田さんは「今日は、雪が降った先週に比べると寒くはありませんでしたが、これからますます寒くなっていくので、今日会った皆さんのことがとても心配。これから、自分に出ることで関わっていききたいです。」と、現場の雰囲気を感じたようです。同法人の活動の積み重ねによつて、北九州市内のホームレスの数は徐々に減少してきているとのことですが、奥田さんは「連日、テレビや新聞で報道されている派遣やパート社員の契約解除等による雇用状況の悪化によつて、新たな路上生活者が都会に流れてくることも予想されます。この現実に向き合いながら、自分たちができることをこれからも積み重ねていきます。」と厳しい表情で話してくれました。

本会では引き続き、越冬用物資の募集に限らず、奥田さんの言葉にある「自分たちができること」について、皆さんといっしょに考え、活動につなげていきたいと思っています。

たくさんの人に読んでもらえる広報紙を目指して

### 「おもしろ広報紙づくり基礎講座」

ボランティアグループや福祉施設・各種団体、企業などの広報紙担当者にとって、いかに読んでもらえる広報紙を作るかは共通の課題であり、試行錯誤の連続というのが現状のようです。

そこで本会では、より良い広報紙づくりにつなぐべと、11月5日・12月3日までの毎週水曜日に、おもしろ広報紙づくり基礎講座（全4回）を開催し、9名が受講しました。

講師として招いたヒューマンエナジー研究所の西川典洋氏は、「シティ情報ふくおか」の副編集長や中高年向けの情報誌「モントーン」の編集長を務めてきた経験をもとに、「広報紙は対象者に読んでもらい、心を動かし、活動に参加してもらうことが大切」とその役割について説明しました。

また、企画の方法、読者をひきつけるレイアウトや見

出しのつけ方、読みやすい文章の書き方、写真の撮り方など、広報紙づくりの基礎となる技術をたっぷりと教えてもらいました。

参加者からは、「これまで専門的な知識を持っていた人から学ぶことがなく、独学でやってきていましたが、本当にこれでいいのかと不安に感じていました。今回の講座で、その不安が少し解消できました。」といった声も聞かれ、有意義な講座になったようです。



サンプルを用いて、レイアウトのテクニックを説明する西川氏

# かまボランティア 市民活動センター情報

2009年  
1月

## ボランティアさんに聞きました!!

武田 直美さん

昨年、本会が募集したホームレス越冬支援にボランティアとして参加。今年の10月からは児童養護施設嘉麻学園で、学習支援ボランティアとして、活動中。



### 学習支援ボランティア活動をはじめたきっかけは？

大学生の頃から、ボランティア活動になんとか興味がありました。特にこれを知りたいということとはなかったのですが、漠然と子どもたちと関わりたいというのがありました。

そんなときに広報紙「えがお」で、嘉麻学園の学習支援ボランティアの記事を見て、これだったら自分にもできるかもと思って、申し込んだのがきっかけです。

### 具体的にどのような活動をされているのですか？

週に1日、2時間程度のペースで、活動しています。嘉麻学園で活動を始めたときから、同じ子どもにマンツーマンで、英語の学習のサポートをしています。

英語は学生の頃は好きだったのですが、スペルとかも忘れていたりして、一つひとつ思い出しながら、教えています。まあ、教えているというよりも、勉強に付き合っているという感じですね。

### 実際に活動してみても感想をお聞かせください

「わからない」ことに対して、的確にアドバイスすることがこんなに難しいことだとは思いませんでした。実際に活動してみて、初めて気づかされることがたくさんありますね。

それにいつも子どもたちに元気をもらっているような気がしています。

### これからの目標は？

学習支援の活動はこれからも続けていきたいと思っています。それに勉強だけではなくて、例えば習字などの習い事の支援などもできればいいなと思っています。

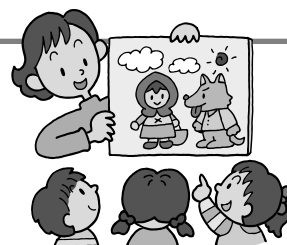
### あなたの特技を活かしてみませんか!?

## レクリエーションボランティア募集

ふぁん・ファン・FUNでは、障がいのある子どもにプールを楽しんでもらおうと、毎月第4土曜日にサルビアパークにて、ハロウィックスイミングを開催しています。

冬の期間中は、子どもたちの体調を考慮して、プールをお休みし、レクリエーション活動を実施する予定です。その中で、読み聞かせやマジック、手話を用いたレクリエーションなどをしていただける方を募集しています。

皆さんも一緒に楽しいひと時をすごしませんか？



- 日 時 平成21年1月24日(土)  
2月28日(土)  
午前10時30分～正午
- 場 所 サルビアパーク(上山田)
- 締め切り 平成21年1月15日(木)
- 問合わせ かまボランティア・  
市民活動センター  
TEL 42-0751



## 地域の交流拠点を目指して…

# 寄ってこハウス 情報



稲築地区の漆生南部行政区にある寄ってこハウスは、人が自然と集まって、人と人とのつながりを深めていける地域の交流拠点を目指して、昨年の9月にオープンしました。

ボランティアなどのご協力をいただきながら、たくさんの方が利用できる楽しい場所にしていきたいと考えていますので、皆様のご利用、ご協力をお待ちしています。

## ご利用ください!!

### ●こんな方が利用できます

- 市内に住所を有する高齢者、障がい者、一人親世帯、子育て中の世帯の方
- 市内に住所を有する就学中の児童、生徒のみなさんなど

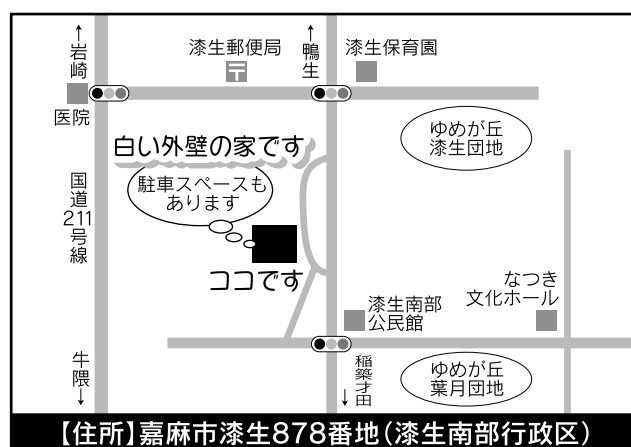
### ●例えばこんな時に利用できます

- 一人で家にいることが多いので、誰かとおしゃべりをしたい
- グループの仲間と楽しい時間を過ごしたい
- 仕事の都合で子どもを一人にできないなど

### ●利用するには…

まず、利用登録の申請手続きが必要となります。登録承認後に利用登録証をお渡しいたしますので、利用される際に提示してください。

### ●寄ってこハウスはここにあります



## ご協力ください!!

### ●畑づくりを手伝ってもらえませんか?

寄ってこハウスの近くにある土地で畑作りを計画中です。畑作りのノウハウをお持ちの方、また興味のある方、みんなで一緒に花や野菜を育ててみませんか。

### ●ハウス内の修繕作業をしてもらえませんか?

より快適に、そしてより安全に利用してもらえるように、ハウス内の補修をしていただける方を募集しています。

### ●利用者との歓談を楽しみませんか?

利用者と一緒にお茶を飲みながら、いろいろな話に花を咲かせませんか。

※これらのほかにも、何か特別な技術がなくても、ご協力いただける内容はたくさんありますので、お気軽にお問い合わせください。



花や野菜がたくさんできる畑に…  
収穫が楽しみです



寄ってこハウスに関するお問い合わせは…

嘉麻市社会福祉協議会 TEL 42-0751



## 確定申告(2月17日～3月16日)が始まります。 大人用紙おむつは、医療費控除の対象です。

### 医療費控除とは・・・

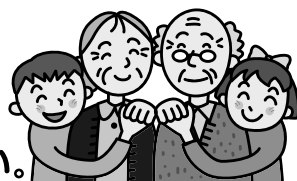
医療費控除とは、自分や家族のために医療費を支払った場合に、適用となる所得控除です。同じ生計者の家族内で、平成20年1月1日から12月31日までの間、病院の診療代や入院費や、おむつ代の医療費の合計が10万円または所得金額の5%を超えた場合に、確定申告により所得税の一部が還付される場合があります。

この医療費控除の対象には、傷病により概ね6ヶ月以上にわたり寝たきりであり、おむつが必要であると医師が認めた方の紙おむつの購入費用も認められますが、おむつ使用証明書が必要となります。

### 医療費控除を受けるためには・・・

- 1 かかりつけの病院に相談して、おむつ使用証明書を発行してもらいましょう。
- 2 証明書が発行日以降の紙おむつ領収書(紙おむつを使っている人の名前と大人用紙おむつであることがわかるもの)を保管しておきます。
- 3 領収書とおむつ証明書を持参して、確定申告をします。

対象とならない医療費もありますので、確定申告についての詳細は、  
嘉麻市税務課市民税係(☎62-5662)までお問い合わせください。



私は、岡山県美作市に住んでいます。今年の4月30日の早朝、山野に住んでいる母が倒れました。父の13回忌法要の翌日の事でした。20日間の入院(検査の結果、パーキンソン病)でした。歩行困難、手の震え、言語不明瞭は残りました。母が倒れた日、岡山に連絡を入れた母の状態を伝えました。早晩このような状況が必ず来ることを想定していたので、妻子は「思ったより早くなつたね。こちらは心配しないで」との返事でした。まず私は、退院後の自立をどうすべきかを考えました。住居環境の補助具の設置が必要でした。介護保険の申請、認定後の事業所との契約(認定は、母の退院の翌日5月21日)と忙しい日々を送りました。ケアマネージャーさんやヘルパーさんをはじめ、多くの方のおかげで、6月から通院、生活介護のサービスが受けられるようになり、7月初めには玄関



岩田 孝利

「母とともに」

シリーズ  
介護体験記

No.16

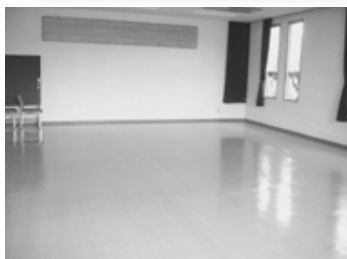
の手すりをはじめ補助具の設置が完了しました。この間、母の症状も良くなり倒れる以前の身体に戻って来ているようでした。7月に入ると調理、洗濯等は自分でできるようになり、ひとりでも外出できるようになりました。岡山で一人暮らしの老人宅を訪問すると2、3分で終る話も1時間2時間はかかってしまいます。どんなに素晴らしい住環境や介護システムを作っても、人との関わりや温かさは大切なのだと実感しました。週1回のヘルパーさんや月1回の通院介護の運転手さんとの何気ない会話は、母にとつては「温かさ」を感じるひとときだと思います。隣近所や地域との触れ合い、老人会や行事への参加、また、日常どこにでも見られる生活の営み(病院、福祉バス、なつきの湯、お店での買い物等)の中に母は生きている喜びを感じています。その営みで出会った人の事や様々な出来事を私に詳しく話してくれます。同じ話を何度となく繰り返して。ひとつの出来事を共に感じ(共感)、ひとりの喜怒哀楽を共に分かち合い(共有)、助け合つて協力(生活していくこと)の大切さを、母を介護(支援)する中で再認識しました。病が重度になり介護が必要となる前に、母の支援者として、いえ、家族の一員として我が家に帰ります。それが私にとって一番の親孝行だと思っております。



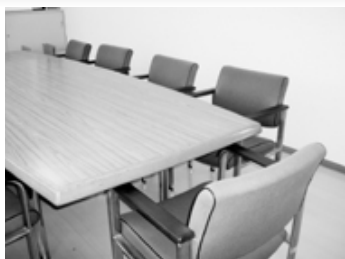
## 山田ふれあいハウス・碓井千歳会館 会議室のご案内

山田ふれあいハウスと碓井千歳会館の両施設に、市民のみなさんが利用できる会議室があります。お気軽にお問い合わせ下さい。

	山田ふれあいハウス	碓井千歳会館	
会議室名	会議室	大会議室	小会議室
収容人数	30人程度	50人程度	10人程度
利用可能時間帯	9時～19時(4月～10月) 9時～17時(11月～3月)	8時30分～17時	
休館日	お 盆(8月13日～15日) 年末年始(12月28日～1月4日)	土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)	
料金	1時間当たり250円 冷暖房利用料金 1時間当たり440円	3時間未満 1,000円 ※3時間を超えた場合、 1時間当たり500円 ※冷暖房利用時については、5割増	



碓井千歳会館大会議室



碓井千歳会館小会議室



山田ふれあいハウス会議室

### 碓井千歳会館

下臼井1050番地19 TEL 62-3538

### 山田ふれあいハウス

上山田502番地6 TEL 52-1847

ふれあい・千歳

新聞



感謝祭

—あいがとつゝの気持ちを込めて—

稲築東学童保育所



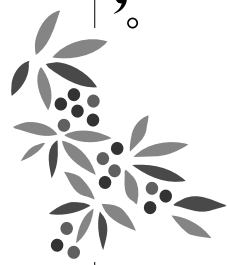
「いらつしやいませ〜美味しいハンバーガーはいかがですか」「甘くて美味しいクレープはいかがですか」  
11月22日土曜日、お昼12時を過ぎた稲築東学童保育所の体育館に、子どもたちのかわいいい呼び声が響きわたっていました。今回で12回目を迎えた感謝祭。日頃お世話になっているお家の方々を招待し、自分たちができることで感謝の気持ちを伝えよう!!と子どもたちの声から始まりました。  
今回は『ハンバーガー』『たこ焼き』『クレープ』『おにぎり』の4店です。お店屋さん、3

年生のお兄ちゃんお姉ちゃん、お客さんは、お家の方々と1・2年生の学童の子どもたち。総勢117名の参加です。どのお店も大繁盛!お客さんからチケットを受け取り、誇らしげに商品を渡す3年生。そんなわが子を優しい眼差しで見守るお父さんお母さん。当日を迎えるまでには、お家の方に食べてもらいたいものは、どんなものか?自分たちで作れるメニューは何から始まり、百数十枚に及ぶチケットの作成、試作品作り、そして、前日の買い物...と、遊びたい!宿題をしたい!早く帰りたい!という気持ちがあつたにもかかわらず、お家の方へのおもてなしに全力投球する1カ月がありました。また、自分が作るメニューを夜遅くまで練習した子もいたようです。  
そうして迎えた『感謝祭』。みんなの気持ちがひとつになった会場には、和やかに食事をされる風景があらこちらに見られ、幸せな空気が満ちていました。そして、大きなイベントをやり遂げた3年生の子どもたちの顔は、ちよつぷり成長して輝いて見えました。

嘉麻市の住民の皆様から、  
ご寄附をいただきました。  
心より厚くお礼申し上げます。

香典返し受付分

11月16日～12月15日受付分



【漆生老松】

親族 木山 淳一様

【鴨生第二】

親族 西田 守也様

【新山野】

親族 福谷 チカ子様

【鴨生町】

親族 手島 勝行様

【西岩崎】

親族 大野 カツ子様

【山野第二】

親族 馬場 ヤエ様

【枝坂】

親族 金納 好明様

【山野第二】

親族 鬼塚 勝成様

【銭代坊】

親族 正野 清己様

【早川】

親族 早川 志真子様

【飯田】

親族 末田 浩様

【漆生中央】

親族 岩永 チエ子様

【上臼井】

親族 三宅 信之様

【光代】

親族 藤浦 ヤエ子様

故 藤浦 勝二様

【神幸】

親族 松隈 千代子様

故 松隈 藤雄様

【熊ヶ畑第二】

親族 高盛 カヅ子様

故 高盛 初男様

【尾浦第二】

親族 深田 謙二様

故 深田 エミ子様

【中益】

親族 武田 英一様

故 武田 マキ様

【牛隈北区】

親族 尾畑 智博様

故 尾畑 裕子様

【牛隈】

親族 清原 澄子様

故 清原 立美様

【宮吉】

親族 宮地 忠生様

故 宮地 利恵子様

【泉河内】

親族 坂口 チカエ様

故 坂口 俊幸様

【嘉穂才田】

親族 梶原 晃様

故 梶原 敬子様

親族 日高 平和様

故 日高 アサ子様

【大力】

親族 嶋田 ツギノ様

故 嶋田 忠男様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様

【子育てリユース】

鴨生北町 葛原 メイ子様

山野第二 西村 優起様

下臼井西 井上 忍様

笹原 正野 裕貴様

南ヶ丘団地 清水 愛味様

尾浦第一 中原 美和様

さくらが丘 大場 睦子様

ゆうひが丘 馬場 万里亜様

【アルミ缶】

下臼井東 匿名 様

本町 室井 榮子様

【尾浦第二】

下川 明世様

【天神】

島田 睦男様

【リングブル】

三菱第一 匿名 様

【石ヶ崎】

國武 美千代様

【尾浦第二】

下川 明世様

【下牛隈】

川原 久美子様

【タイヤショップ】

もりた 様

【嘉麻市保護課】

様

【古切手】

漆生 新見 慶子様

【鴨生町】

匿名 名 様

【尾浦第二】

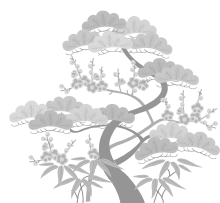
下川 明世様

【中益】

浦田 美香様

【漆生中央】

足白小学校 田中茶舗 様





あなたの会費が、社協の  
地域活動を支えています。

会員として、次の方々に  
ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)  
11月16日～12月15日受付分

# 【個人会員】

## 〔鴨生第一〕

おかもと美容室・安永文太郎・  
多田ノリ子・岩佐登美男・笹栗  
生馬・高橋政江・河野敏・梅根  
繁

## 〔漆生本村〕

松本尚美

## 〔上臼井下〕

宮内定男(二口)

## 〔西川〕

山田康子

## 〔熊ヶ畑第二〕

大塚剛史・伊藤浅男・伊藤秀・  
大里重文・大里秀子・金崎寛治・  
金崎文子・笹尾隆文・笹尾栄子・  
笹尾琢磨・笹尾農幸・笹尾己巳  
子・笹尾シズヨ

## 〔古河〕

久恒勝子・青木政國・穴井美子・  
生田政光・伊藤由美子・梶原鈴  
男・国房スマ子・小西シツエ・  
沢田大蔵・塚原シゲ子・西志津  
江・馬場三郎・稗田玉子・日高  
ミドリ・日野クニコ・藤田則子・  
吉原カヲル

嘉麻市社会福祉協議会指定

## 〔葬祭場紹介〕

## 飛鳥会館 南斎場

嘉麻市漆生298-1 ☎(0948) 42-4241



- ご連絡ください。365日・24時間承ります
- わかりやすい料金体系。ホール使用料は無料です。
- お斎(とき)は、寿会館の本格京風会席です。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、飛鳥会館南斎場を含め、市内に8ヶ所あります

きど葬祭	やまさ碓井斎場……………	☎62-4499
ひさつね会館……………	☎52-0758	
いすや会館……………	☎57-4444	
セレモニーホールおおつか……………	☎52-1212	
かほ葬祭あじさい会館……………	☎62-5566	
善光会館稲築会場……………	☎83-5000	
おかむら葬祭岡村会館……………	☎42-4420	

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定で  
お願いします。」とお伝え下さい。葬祭にかかる費  
用の一部について割引を受けることができます。

## 知っておきたい

### 葬儀マナー・基礎知識 No.20

今回ご回答頂くのは…

飛鳥会館 南斎場 松尾健一さん



Q. お葬式の費用を事前に知ることはできますか？

A. 喪主と故人の年齢、職業、役職、参列者の人数(ご  
親戚の方も含みます)が分かれば、いつでも見積  
もりをすることができますので、葬儀社に問い合  
わせてください。

## コラム 交差点

ガソリンの価格が下がりました。

今年の8月ごろには、レギュラーガソリンの1リットルあた  
りの単価は180円台にまで達していましたが、4ヶ月の間で単価  
は急降下。

先日テレビニュースによると、8月頃のおよそ半額の90円  
台で販売されているところもあるようです。

価格がどこまで上がるのかと不安に感じて

いた頃は、急発進をしない、無駄な荷物

は乗せない、アイドリングはやめる、

近い場所では車を使わず、徒歩や自転

車で行くなど節約に励んでいまし

た。しかし今はどうと、少しずつ

気が緩んでしまい、余分な荷物は

乗せたまま、歩いていけるとこ

でも車で、というふうになガソリンの

価格が高騰する前の私に戻ってしまっ

ています。

しかし、いくらガソリンの価格が下がったと

しても、「限りある資源」であることには、全く変わ

りはありません。

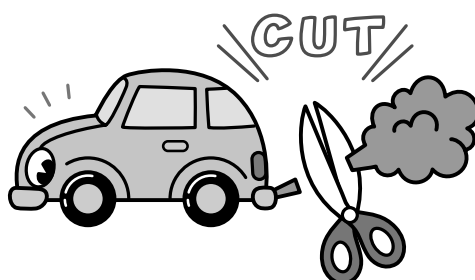
将来、社会を背負っていく子どもたちのために、私ができる

こと…。石油に代わる新たなエネルギーの開発は、到底私にで

きることはありませんが、せめて、緩んだ気持ちをもう一度

引き締めて、毎日コツコツと省エネに励んでいくことからはじ

めたいと思います。(竹)



私は、大隈中学校を昭和34年3月に卒業、集団就職（関西地方第1陣）にて大阪に参りました。



大阪市住吉区在住  
小島義郎さん(65歳)  
牛隈出身

先生方また大勢の同級生が飯塚駅まで、見送りに来て下さったことを鮮明に覚えております。不安と期待を胸に上阪しましたが、大都会での信号の渡り方、環境や言葉にもなかなか馴染めず、大隈へ帰りたい“の思いで涙したものです。両親からは『石の上にも3年。どんな事が有っても辛抱するんだぞ』と言う教えで、やっと3年目に待望の故郷大隈に里帰りすることができました。帰り道、車窓から馬見山が見えたときは、感慨無量で生涯忘れる事のできない思い出です。

あれから50年、月日の経つのも早いもので、私も65歳になり高齢者の仲間入りです。可愛い孫3人に恵まれ、このように幸せな日々が過ごせる事ができるのも、私一人のできるものではありません。皆さんに支えられ、今日があることを痛切に感じております。

私も微力ではありますが、地域（大阪市住吉区）の為に福祉の役を受け、共に色々な勉強をさせていただいております。

古里の山や川、青々とした田園、どこまでも澄みきった青い空、美しい大隈（嘉麻市）に同窓会などで帰ったときは、暖かく迎えてくれる大隈が大好きです。そして、大隈で育ったことを誇りに思っています。

どうぞ、嘉麻市がこれからも益々発展されます事、大阪より声援いたしております。

## 2月の総合相談

### 法律相談

1回目

と き: 2月5日(木) 13:00~16:00

と ころ: 山田ふれあいハウス

2回目

と き: 2月19日(木) 13:00~16:00

と ころ: 稲築住民センター

### 心配ごと相談

1回目

と き: 2月18日(水) 13:00~15:00

と ころ: 稲築住民センター

2回目

と き: 2月25日(水) 13:00~15:00

と ころ: 稲築住民センター

### 会場案内

心配ごと相談は、毎月第2・4水曜日に稲築住民センターにて開催します。法律相談(無料)は、毎月第1木曜日が山田ふれあいハウス、第3木曜日が稲築住民センターです。法律相談は予約が必要です。お早めに下記までお申込みください。

嘉麻市社会福祉協議会 42-0751

### 炭鉱の記憶 NO.22



阿座上利雄さん  
(枝坂在住) 79歳

「この機械のことは、一生忘れられん...」阿座上さんが三井山野鉱業所の社内報「やま野」(昭和43年4月号)を見せてくれました。そこには、当時同鉱業所が社運を賭けて導入したイギリス製の最新式掘削機の写真とともに、「ダブルレンジングドラムカッター導入決定」という文字が踊っています。

阿座上さんは、その機械を使った最前線の採炭を任されることとなりましたが、「松岩(まついわ)」と呼ばれる非常に堅い岩に何度も行く手を阻まれ、苦戦を強いられました。「想像以上に松岩があり、作業が全く進まないんです。刃が少しでも触れると曲がってしまうので、一度機械を下げてから発破し、また進むという作業の繰り返しです。社運がかかっていましたからね、重圧に押し潰されそうでした。」

社運を賭けた、大焼(おおやけ)5尺層の大型機械による採掘は困難を極め、採炭経費増大や輸入炭等の影響で昭和48年に同鉱業所は閉山となりました。

閉山後、阿座上さんは、日本鉄道建設公団(当時)へ入社し、定年までの16年間、新潟新幹線の建設などに携わりました。「国の事業でしたので、上司や部下は有名大学出身者が多く、炭鉱者が」と言わないように、炭鉱で培った技術と経験を武器に一生懸命でした。」と、必死で働いた当時を振り返ります。

どの現場も難工事が多く、1年半かけても1cmも進まなかった地点もあったそうです。しかし、そんな苦労を重ねたトンネルも、新幹線で通つてみたら、ほんの数秒。「使命感をもつて努力したのは、炭鉱も鉄道建設も一緒でしたね。」と目を細めます。

阿座上さんは、公民館主催の講座や炭鉱にまつわる講演会などに参加しながら、「炭鉱の歴史」について自ら資料を集め編纂しています。「終戦後の国土復興に向けて、大きな役割を果たした炭鉱のことを子や孫に伝えていく必要があると思うんです。機会があれば、映像で記録を残したいですね。」阿座上さんは、今も在りし日の炭鉱に思いを馳せています。